

京都南部地域
行政改革推進会議

乙訓地域

分科会

だより

vol.06



みんなが暮らしにくい
まちだから
みんなが考えよう
みんなのまわりの将来を



乙訓地域を囲む豊かな緑の西山の麓には、歴史ある寺社仏閣が数多くあります。

まちをそぞろ歩き、季節を色濃く映し出している景色を皆さんも見つけてください。

写真：光明寺（長岡京市）

乙訓地域分科会では、向日市・長岡京市・大山崎町の自治体合併について、調査研究や情報提供を行っています。今回は、全国・京都府の合併の進展状況を集めます。また、合併した他の自治体の状況、乙訓地域の一部事務組合や文化などについて紹介しています。

◆もくじ◆

特集 市町村合併の進展状況

合併した自治体は、いま

広域行政と地域分権

乙訓地域の一部事務組合

歴史からみる乙訓（おとくに）の地

合併のメリット・デメリットってどんなこと？

乙訓地域の特産品

市町村合併の進展状況

平成の大合併に一区切り——地方制度調査会の答申から

そもそも「平成の大合併」って？

平成7年の合併特例法で市町村合併が促進され、平成17から18年にかけてピークを迎えました。国は、住民発議制度の創設や、合併特例債に代表される財政支援策のほか、中核市や特例市など権限を拡充した都市制度の創設、市や政令指定都市への昇格の際の人口要件緩和などによって、市町村の自主的合併を促してきました。

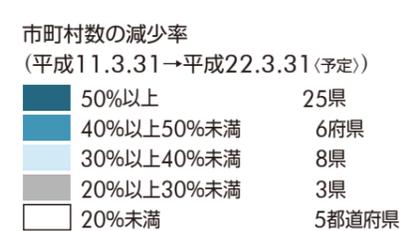
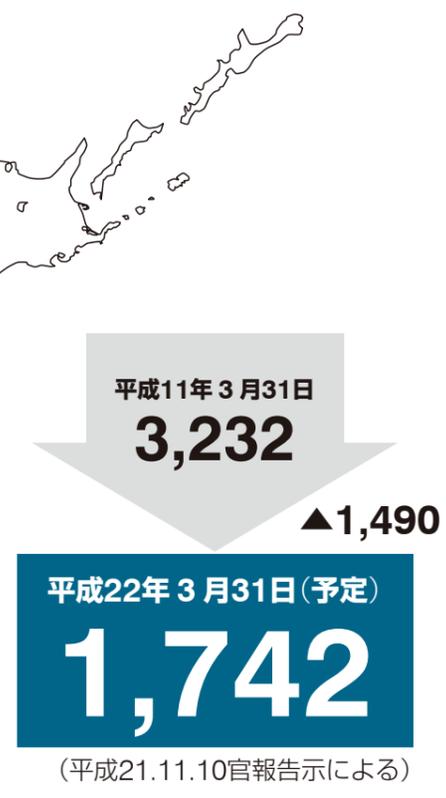
合併ラッシュは一区切り？

平成21年6月、総務省の諮問機関である地方制度調査会は、「今後の基礎自治体及び監査・議会制度のあり方に関する答申」をまとめました。

「答申」は市町村合併が相当程度進捗したとして、全国的な合併推進運動については、平成22年3月末までで一区切りすることが適当であると述べています。全国的な「平成の大合併」については、一区切りとなりそうです。

今後の自治体のあり方は？

また、この「答申」では、平成22年4月以降も自主的に合併を選択する市町村に対して必要な支援措置を講ずることが適当とし、新たな「合併特例法」の必要性を指摘しています。さらに合併のほかにも、周辺市町村間での広域連携や、都道府県による補完など、多様な選択肢のなかから市町村が選択できるようにすべきとしています。地方に比べて大都市圏では合併が進みませんが、大都市圏についても、市町村合併や広域連合による高い効率化効果が期待できる、としています。



京都府内の市町村合併の状況

	計	市	町	村
平成13年4月1日	44	(12)	(31)	(1)
平成21年4月1日	26	(15)	(10)	(1)

合併した自治体は、いま

視察レポート



富山県高岡市は、平成17年11月に旧高岡市と旧福岡町が旧特例法により新設合併した自治体です。人口17万8,622人、面積は209.38平方キロメートル(乙訓地域の6.3倍)です。議員定数は、合併直後に選挙を行い、31人とし、現在は30人となっています。合併前の1市1町の議員総数より13人減となっています。職員数については、旧高岡市が約2,080人、旧福岡町が約1,600人でしたが、現在は2,081人となっています。

●合併の経緯

平成11年の合併特例法の一部改正の施行により、富山県が県内市町村の合併モデルパターンを

提示しました。それに伴い、県内の各市町村が合併に関する検討を進め、旧高岡市は、中核市を目指すため、高岡広域圏(3市1町)と射水広域圏(1市4町)を合わせた4市5町での合併構想でスタートしました。しかし、そのうち、射水広域圏での合併や、合併せずに単独を選挙自治体などが出てきたため、中核市を目指すための第一段階として、旧高岡市と旧福岡町との合併となりました。

●合併による財政削減や効果

職員、特別職、議会議員数の削減や事務経費を削減することにより、効率的な行政運営が可能となったほか、国の財政支援措置等も活用することにより、駅周辺整備やネットワーク道路などの基盤整備が可能となりました。また、旧高岡市と



▲高岡市役所。8階建ての庁舎を、建設部門以外の部署が使用

旧福岡町の間接地点に工業団地や消防署、老人福祉センターを整備し、両地域の一体感醸成にも寄与しています。
高岡市は対等合併し、合併特例債も旧高岡市と旧福岡町とで折半したため、旧福岡町地域では、合併前には取り組めなかった投資的な事業が進んでいます。

●合併に対する住民意識

旧高岡市側の住民意識としては、合併前のアンケート調査では、合併賛成が7割を占めました。旧高岡市は県内では比較的大きな市であったため、合併するならば中核市となるような合併をしようという意識が強くなりました。
旧福岡町側の住民意識としては、合併前のアンケート調査では、合併賛成が5割。合併により投資的な事業が進んだため、合併して良かったという声もあれば、町時代は職員と住民との距離が近かったのが、市になってからは、職員と住民との距離が遠くなったという声もあります。

行ったことなどが、大きな原動力となりました。

●合併の効果

職員数や議員数の削減が進むなど、人件費の約12億円を中心とした財政的効果が得られました。さらには、旧村部の観光資源を有効に活用し、これまで村単独では成し得なかった投資を行い、観光客の倍増を実現しました。

また、旧地域の企業が、合併を機に、地価の安い旧町域へ事業所を移転・拡大して、企業活動を活性化させる動きも現れてきています。

●今後の課題

合併から5年以上が経ちましたが、文化活動などにおいて「四国中央市民」の一体感が出てくるまでには、まだ時間が必要です。

一方、市民会館や体育施設など、旧市町村からそのまま引き継いだ公営施設は、将来的な財政状況などを踏まえ、今後は統廃合や民間委託などを進めなければならないようです。



四国中央市は平成16年4月に2市1町1村(川之江市、伊予三島市、土居町、新宮村)の新設合



▲四国中央市役所。旧伊予三島市役所を仮の本庁舎としており、将来的には新市庁舎の建設を予定
▲海沿いの市街地からわずか2.3kmに迫る法皇山脈(伊予三島駅周辺)

研修レポート

地方分権改革の現状と広域行政のあり方について



平成21年10月15日、向日市民会館において2市1町の職員を対象とした研修会を開催しました。この日は講師に京都府自治振興課参事 辻村徳夫さんをお招きし、「地方分権改革の現状と広域行政のあり方について」というテーマで、主に現在進められている国から地方への権限移譲を中心に講演をしていただきました。

辻村さんは「権限移譲に伴い市町村事務が増えるが、人員・財政面でも限界がある。今後は、複数の市町村が様々な部門の事務を共同で、効率よく進めていくような仕組みを検討していくことも考えられる。今まで以上に市町村間の連携、市町村と都道府県間の連携が重要になっていく」と述べられました。

広域行政と地域分権

「平成の大合併」で基礎自治体の広域化が進みました。今、地方分権のあり方が大きく問われ、議論される時代になってきました。

広域行政

関西広域連合(仮称)とは

市町村だけでなく、都道府県単位の連合についても検討・議論がされています。

広域連合とは、地方自治法第284条に規定される特別地方公共団体です。広域にわたって処理することが適当と認められる政策・事務について、広域計画を通じた共通化や一体化を図るとともに、連絡調整などの機能を有する等、より政策的で機動的な広域行政機構としての性格を持つものです。

関西広域連合(仮称)には、大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、滋賀の2府4県と福井、三重、徳島、鳥取の各県で協議が進められています。

関西広域連合(仮称)で行う事務としては、ドクターヘリや広域防災など住民の皆さんの安心・安全の向

上に役立つ事業や、資格試験の共同化など、事務や経費面での効率化を図れる事業などを中心に検討しています。

定住自立圏構想とは

定住自立圏とは、地域全体の中心的な役割を果たす意思等を公表して、中心市宣言を行った中心市(※)とその周辺市町村が、人口定住のために必要な生活機能(例えば、医療、教育、福祉)を確保するため、役割分担し、連携していく協定を結びます。それによって、中心市と周辺市によって形成される圏域をいいます。平成21年10月7日現在では、8の定住自立圏が協定を締結しています。中心市は、国の定める要件を満たす必要があります。

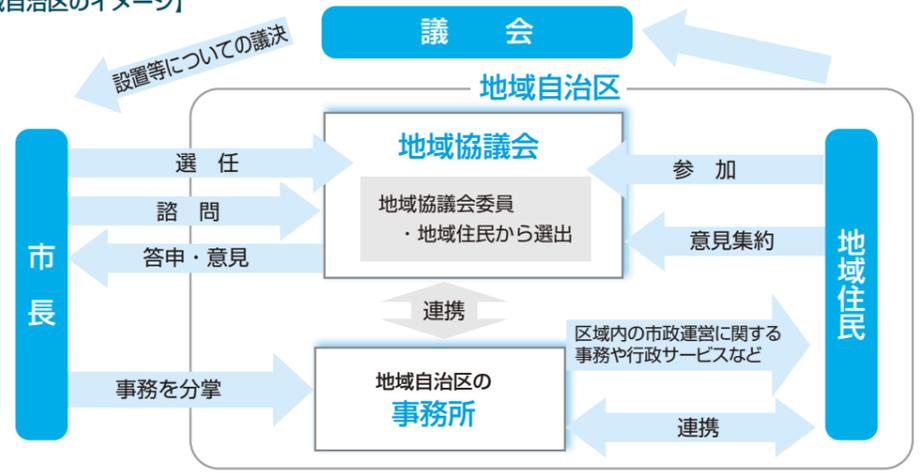
地域分権

住民の声を市町村に届けるために、地域に「地域自治区」を設けるなど

地方自治法にもとづく地域自治区の例——新潟県上越市

上越市では、平成17年1月の市町村合併に際し、編入町村に住む住民の不安解消、さらには地域の課題に主体的に取り組み、解決していくための仕組みとして、合併特例法に基づき、13の地域自治区(13区)を設置しました。平成20年4月からは地方自治法に基づく地域自治区として設置しています。平成21年10月からは、合併前の上越市の区域にも地域自治区を設置し、市の全域で地域自治区制度がスタートしています。

【地域自治区のイメージ】

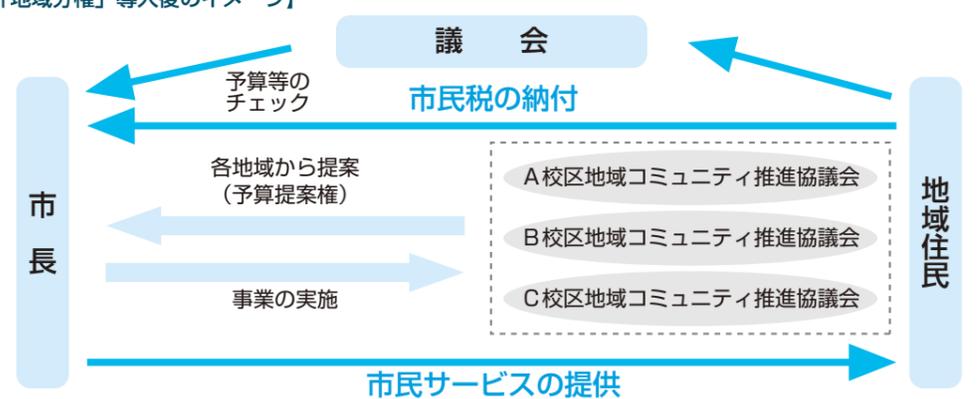


※上越市ホームページを参考とさせていただきました

地方自治法に規定されない地域分権の例——大阪府池田市

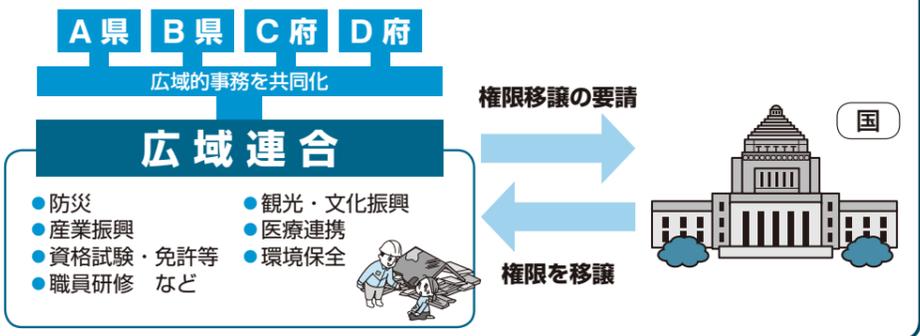
池田市では、平成18年4月に「池田市みんなで作るまちの基本条例(自治基本条例)」が施行され、地域分権がスタートしました。具体的には、市内11小学校区に地域内の課題抽出・解決を検討する「地域コミュニティ推進協議会」を設立し、その実現に向けた事業に対する予算提案をしてもらおうというものです。

【「地域分権」導入後のイメージ】

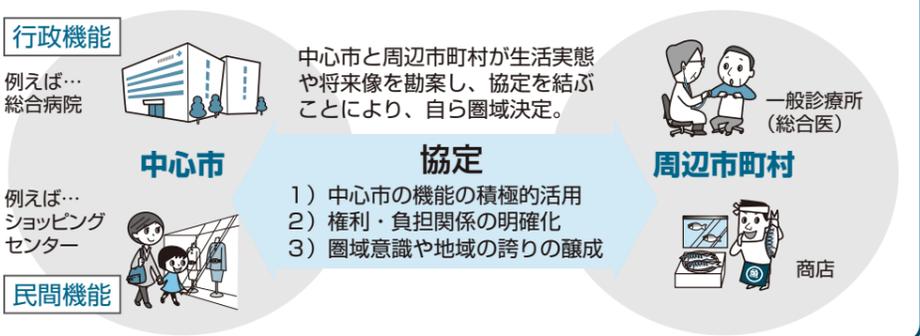


※池田市ホームページを参考とさせていただきました

関西広域連合イメージ



定住自立圏構想とは

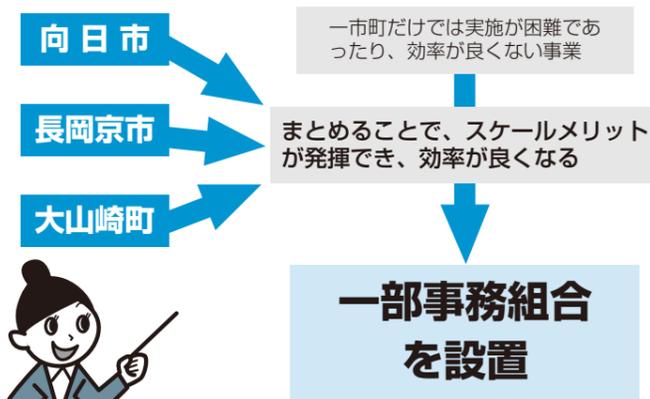


して、住民自らが市に対して要望や意見を上げていけるようなシステムをもつ市町村が増えていきます。地域自治区とは、平成16年に改正された地方自治法に規定された制度です。地域の課題を審議したり、市

町村長に意見を述べたりできる地域協議会が置かれ、選ばれた委員が意見を申し合います。合併特例法に基づき10年間前後に限った暫定組織もあります。

乙訓地域の 一部事務組合

一部事務組合とは…複数の都道府県や市町村が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織です。単独で実施困難な事務事業が実施でき、スケールメリットの発揮による事務の効率化が図られます。乙訓でも現在3つの一部事務組合が設置されています。



おとくに 歴史からみる乙訓の地

市町村合併で異なる文化をもつ地域同士が合併する際、しばしば「それぞれの地域の文化や伝統が損なわれてしまうのでは」というデメリットが議論されます。乙訓地域の場合はどうなのでしょう。乙訓地域の歴史を振り返ってみましょう。

長岡京の時代

784年、桓武天皇によって長岡京が置かれます。現在の向日市、長岡京市、大山崎町、京都市にあたります。その都に物資を運ぶための玄関口として栄えたのが、淀川をさかのぼった山崎津で、現在の大山崎町にあたります。平安時代には、京都府南部を治める山城国の国府が大山崎町に置かれました。



▲山崎津
▲長岡京の町並み



戦国時代・江戸時代

戦国時代末期には勝龍寺城が大改修され、江戸時代に永井直清が神足館を築城するなど京都盆地南西部を治める拠点となりました。応仁・文明の乱や山崎の合戦といった歴史に名高い戦さが乙訓郡内で行われました。



▲勝龍寺城跡から出土した遺物

時はくだって、幕末の鳥羽・伏見の戦いでも戦いの結果を決める重要な地となりました。

乙訓郡2町1村の時代

時代は明治へ移り、1879(明治12)年に乙訓郡役所が向日町に置かれ、他のいくつかの村とともに乙訓郡を形成し、1967年(昭和42年)に大山崎町、1972年(昭和47年)に向日市、長岡京市ができるまで、乙訓郡2町1村(向日町、長岡町、大山崎村)の時代が続きました。



▲乙訓郡役所の建物は、現在の向日市中央商店街のJA京都中央向日支店のあたりにあった。(1940年刊『乙訓郡誌』より。写真当時は向日町警察署であった)

現代

現在も、乙訓2市1町、一部事務組合など行政圏だけでなく、市民の日常生活圏でのつながりは深くなっています。

「おとくに」って?

「おとくに」という呼び名の歴史は古く、「弟国」と記された奈良時代の土器も発見されています。弟国の地名は、葛野郡から分離して新しく郡をつくるとき、葛野を「兄国」とし、新しい郡を「弟国」としたことに由来する説があります。518年には、継体天皇がこの乙訓の地に「弟国宮」をつくっています。



乙訓環境衛生組合 (愛称: クリーンプラザおとくに)



昭和39年6月に当時の京都府向日町、長岡町及び大山崎町の2町1村(現在の向日市、長岡京市及び大山崎町の2市1町)の一般廃棄物の処理を共同で行うことを目的として設立された一部事務組合(特別地方公共団体)です。「環境にやさしい廃棄物処理とリサイクル」を基本に、ごみ処理施設、リサイクルプラザ、プラブラザ、し尿処理施設及び勝龍寺埋立地の運営管理をしています。特にリサイクルプラザは、住民参加型施設として、リサイクルを学ぶ展示ホール、自転車・木製家具再生工房や廃ガラスを原料としたガラス工房を併設し、リサイクルの拠点として活用できる施設となっています。また、ごみ処理施設は、ごみ焼却時に発生する熱を利用した発電設備を備え、「省資源・省エネルギー」を実践した施設でもあり、廃棄物循環型社会の形成に向け積極的に取り組んでいます。

乙訓福祉施設 事務組合

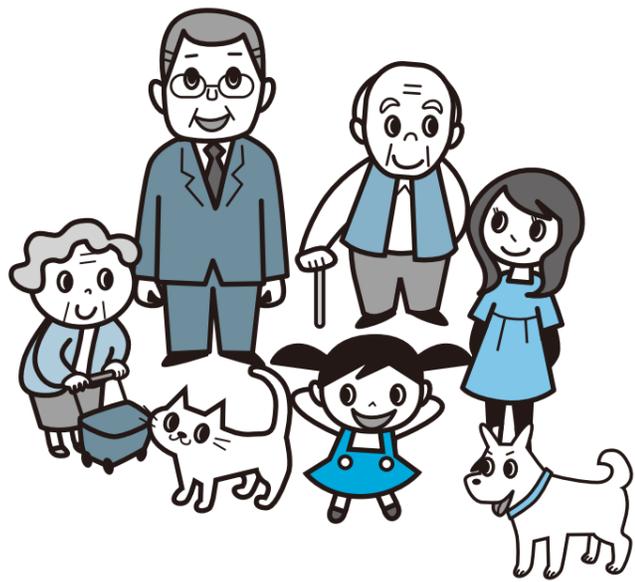


昭和58年4月に2市1町の福祉事業の一部を担うことを目的に設立された一部事務組合です。当事務組合は障がいのある方を対象とした就労移行支援事業、就労継続支援(B型)事業、生活介護事業、地域活動支援センター事業、日中一時支援事業の「乙訓若竹苑」、発達遅滞等が懸念される幼児を対象とした、児童デイサービス事業の「乙訓ポニーの学校」、介護保険法における要介護認定の二次審査と障害者自立支援法における障害程度区分の二次審査等を行っている「介護障害審査課」、「総務課」の4部署の運営、活動を行っています。また、総務課に乙訓圏域障害者総合相談支援センターを設置し、障害者総合相談支援ネットワーク事業・乙訓圏域障害者自立支援協議会の事務を行っています。

乙訓消防組合



平成13年4月に、向日市、長岡京市及び大山崎町の各消防本部を統合し、1本部3署1分署の体制で設立されました。重点施策として、消防防災体制の強化、警防活動体制の強化、予防行政の充実、高度情報通信体制の確立などを推進しています。火災・救急の際の出動については、高機能消防指令センターシステムが導入されています。119番などの災害通報を受信すると、災害発生地点に最も適した消防隊などが現場に急行、指令室から車両動態管理システムで出動隊が現場に誘導されて災害現場到着時間の短縮、救命率の向上、災害による被害軽減が図られています。また、火災予防運動の推進や、市民の方を対象にした救急講習、各種講習などを実施し、2市1町の住民の安全、安心のため、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。



合併すると、具体的に住民にどのようなメリットがあるのでしょうか？

合併して サービスは良くなるの？



合併前の市町村間で住民サービスの水準、使用料や手数料等が異なることがあります。これらの問題は合併前の関係市町村間で話し合って決められます。合併により住民の負担が急激に増えないような配慮が必要です。



住民の負担が増えることはないのですか？



埼玉県の実施したアンケートでは、合併してよかったことの第1位が、「公共施設等が利用しやすくなった」でした。合併したことで他の市町村のものであった公共施設が使えるようになったり、学校や保育所の垣根がなくなるなど、住民の利便性の向上が図られます。

先生のお話を聞いて
もっと知りたくまりました。



まちの将来のこと、
これからも私たちと
一緒に考えていきましょう。



市町村合併の良い面として、「効率化」や「経費削減」につながると思われるのですが、これはどうしてなのでしょう？

「効率化」や「経費削減」に つながるの？



教授

合併のメリット・
デメリットを考えて
見ましょう！



学生

はい、
合併のことを
教えてください。



しかし、議員の数が少なくなるなど、合併したら住民の声が届きにくくなりませんか？

住民の声が届き にくくなるのでは



それぞれのまちが別々に行っていた仕事をまとめることで、効率がよくなり、経費が削減できるのです。



二度手間がなくなったり、スケールメリットが確保できるということですね。他にはどんなことがありますか？



合併に伴って市町村長や、議会の議員の定数が減らせるということがあります。全国的には、市町村の特別職・議会の議員が2万1千人減少し、給与・報酬等は年間1200億円削減されると見込まれます（総務省ホームページより）。



議員一人あたりの住民の数が増えるので、確かにそういう心配はありますね。しかし、合併により役所の職員規模が大きくなることで、専任の広聴担当職員を配置したり、広聴の仕組みを充実させるなど、工夫できる点もあります。



中心部と周辺部の格差が広がってしまつのではないのでしょうか？



中心部と周辺部の格差が広がるかどうかは、合併後どのようなまちづくりを行うかによります。広域的な視点で、自治体全体のまちづくりを考えていかなければなりません。



みんなの声が届きやすいような仕組みをみんな考えていくことが大切なのです。

乙訓地域の特産品



竹製品・竹の子

乙訓地域は、恵まれた気候と土壌条件、農家のたゆまぬ創意と努力によって古くから良質の竹・竹の子を産出する土地です。「竹取物語」のモデルも乙訓ではないかと言われています。

花菜

元々切り花用として栽培されていた菜種の、花が咲く前のつぼみを食用にしたものです。栄養価は抜群で、特にビタミンAが豊富です。現在は長岡京市が代表的な産地。さつと茹でて、からし和え、お吸い物の実、お浸し等にすると美味です。



ナス

京都盆地特有の夏の暑さと土壌が生育に適しており、市場でも高く評価されています。ナス農家はなるべく農薬を使用しないように工夫して、「ソルゴー障壁（囲いこみ・天敵昆虫利用）栽培」を全国に先駆けて取り入れています。



懸がいギク

断がいから自然に垂れ下がる老木の優美な様をかたどったものといわれています。80年の伝統があり、現在では向日市が近畿唯一の生産地として知られています。



ポインセチア

赤と緑の葉のコントラストが鮮やか。昭和58年ごろから栽培され、今では向日市の特産品となっています。

バラ

花束には欠かせない花の代表格。大山崎町の特産品として古い歴史があります。品種としては、ローテローゼやティネケといった一輪ものから、1本の茎からいくつもの花をつけるマカレナ、キングなども栽培しています。



皆さまからのご意見をお待ちしています

- 乙訓地域分科会では引き続いて、広く合併についてご意見を集めています。郵便、電話、ファクス、Webサイトから、いずれでもかまいません。お待ちしております。

発行：平成21年12月

編集：京都南部地域行政改革推進会議 乙訓地域分科会 <http://www.otokuni-cbk.jp/>

【連絡先】

向日市・企画調整課／Tel 931-1111 Fax 922-6587 〒617-8665 向日市寺戸町中野20

長岡京市・政策推進課／Tel 951-2121 Fax 951-5410 〒617-8501 長岡京市開田1-1-1

大山崎町・総務課／Tel 956-2101 Fax 957-1101 〒618-8501 大山崎町円明寺夏目3



この印刷物は古紙/リブ配合の再生紙と大豆油インキで印刷しています。